

はしがき

階層に関連する社会意識は、マクロ階層構造のマイクロレベルでのバイアスのかかった認知の反映であり、なおかつマイクロレベルでの個人の行為選択を準備する前提となる。そして、個々人の行為選択の集積が次の時点での階層構造を規定する。このような、階層変動のマイクロ＝マクロ・リンクを想定したとき、階層意識はその重要な結節点となる。

本巻では（意識2巻と合わせて）、多様な意識項目が分析の俎上に載せられている。SSM調査において伝統的な階層帰属意識をはじめとして、文化資本、不公平感、主観的幸福感、性別役割分業意識、権威主義、政党支持、信頼、社会参加が、それぞれの分析視角から取り上げられ分析されている。分析手法としても、基礎集計レベルを丁寧に描く論文や、データビジュアライゼーションを工夫した論文、そして一般化線型モデル（GLM）を用いて、それぞれの理論的背景から導出された仮説を検証する論文があり、バラエティに富んだものになっている。さらに、多重対応分析、APC分析、階層ベイズモデリングの応用といった方法論的な試みもなされている。

本巻が（意識2と合わせて）、現代における階層意識の多様な側面を描き出し、現代における階層状況と階層構造変動の理解に貢献することを願ってやまない。

2018年3月

石田 淳